※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1207

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	未来へつなぐ家庭基礎 365　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉について理解し、共に支えあって生活することの重要性を考えましょう。

・自立した生活を営むために必要な衣食住、消費生活や生活における経済の計画に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得しましょう。環境に配慮したライフスタイルを考え、主体的に生活を設計することができるようになりましょう。

・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題や課題を発見し、解決方法を考え実践するための知識や技術を身に着けましょう。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて、主体的に生活するために基礎的な知識を理解し、それらに関する技術を身に着けるようにする。
・家庭や地域・社会において生活課題を見いだし解決策を構想し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を養う。
・よりよい社会を構築するために、地域社会に参画し自分や家庭・地域の生活を充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的、実践的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	青年期の自立と家族・家庭	自立への一歩を踏み出そう	a:現代の世帯の変化を理解している。 青年期の５つの自立について理解している。 b:男女の平等な付き合い方、関わり方について自分なりに考えている。 青年期の特徴や課題を知り、これからの人生に必要なことを考えている c:将来の職業についての見通しを考えている。	プリント 授業態度 定期考査	課題の発表 実習の技能 定期考査	課題の発表 実習の技能 授業態度
		家族・家庭って何？				
		将来の自分と家庭を想像する				
	子どもの生活と保育	子どもはどう生まれ育つ？	a:子どもの心身の発育や発達の特徴を理解している。 子どもの生活習慣の特徴、健康や安全な環境を整えるための、社会の役割を理解している。 b:子どもを産み、育てることの意義について考えている。 子どもの育つ環境づくりには何が必要か考えている。 c:子どもの発達に合わせた関わりについて考えることができる。	プリント 定期考査	課題の発表 実習の技能 定期考査	課題の発表 実習の技能 授業態度
		子どもとどうかかわろう？				
		これからの子育てとは？				
	衣生活と健康	衣服の役割って何だろう？	a:被服の洗濯、保管などの被服管理について、科学的に理解している。 安全で効率よく布を用いた物の製作をすることができる。 b:被服の洗濯、保管などの衣生活の管理ができる。 c:目的に応じた自分らしい衣服の着方について考えることができる。	プリント 定期考査	課題の発表 実習の技能 定期考査	課題の発表 実習の技能 授業態度
		衣服はどうやって作られている？				
		衣服の計画・管理を知ろう				
		今後の衣生活を考えよう				

※令和４年度以降入学生用

後期	食生活と健康	なぜごはんを食べるの？	a:食にかかわる情報を適切に収集・整理し、食生活に生かすことができる。 青年期と家族の各ライフステージの栄養的な特徴と、食事の重要性について理解している。 b:食生活の基本は栄養のバランスを取ることであることを理解し、栄養素の働き、食事摂取基準、食品群別摂取量の目安などをもとに、自分や家族の食生活を見直している。 c:食の安全、安心について学習したことを意欲的に食生活に取り入れようとしている。	プリント 定期考査	課題の発表 実習の技能 定期考査	課題の発表 実習の技能 授業態度
		私たちは何を食べているの？				
		安全に食べよう				
		健康に食べよう				
		おいしく食べよう				
		これからも食事を楽しむために				
	住生活と住環境	どのような家に住みたい？	a:衛生的に住まう方法について理解している。 災害時にとるべき行動について理解している。 b:日本の伝統的な住まいの特徴を生かした現代の住まい方について考えている。 自分や自分の家庭でできる防災・減殺について考えている。 c:自然環境や社会環境と調和した住まい方に関心を持ち学習に取り組んでいる。	プリント 定期考査	課題の発表 実習の技能 定期考査	課題の発表 実習の技能 授業態度
		安全に住もう				
		快適に住もう				
		住まいの課題と未来の暮らし				
	消費生活と意思決定	将来に向けて家計を考えよう	a:消費者問題の種類や特徴、対処法について理解している。 b:消費行動の意思決定には様々な要因があることを理解し、自分の消費行動として考えようとしている。 c:消費者としてより良い意思決定をするために、様々な情報を活用するということを理解している。	プリント 定期考査	課題の発表 実習の技能 定期考査	課題の発表 実習の技能 授業態度
		何をどうやって買う？				
		かしこい消費者になろう				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度